地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

愛知県岡崎市

自治体の課題、現状

- これまで当市の運動部活動は、弓道部、柔道部、ソフトテニス部、陸上部を含め229の部活動があり、少子化により新規入部の募集停止や活動整理が進んだ。
- 部活動の地域移行に向けて、「岡崎市立中学校地域ブロック部活動の進め方『3段階プラン』（岡崎モデル）」を策定し、令和5年度夏から3年間を第1段階とした。第1段階で、市内中学校の部活動をブロック化し、休日にブロックごとで活動するように移行した。
- 運動部については、本年度夏に全ての部活動を地域ブロック部活動に移行した。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	20校	全生徒数	11,079人
域内の部活動数	運動部105部	実施した地域クラブ数	35クラブ
全体の指導者数	204人	全体の運営スタッフ数	指導者と兼務
主な運営団体	岡崎市教育委員会		
主な種目	弓道、アーチェリー、柔道、ソフトボール、ソフトテニス、陸上、ハンドボール		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：21人/クラブ 1年：24人/クラブ
参加会費	なし	主な活動場所	矢作中学校、龍北運動場・テニスコート、中総テニスコート・弓道場

取組の概要や成果

運営の円滑化

- 地域ブロック部活動の運営が円滑に行われ、**ICTの活用により保護者、指導者間の連絡や活動計画の打ち合わせがスムーズに進行**した。
- 平日の移行を目指し、**市の公共施設や夜間照明を使用した活動を18時より行い、**専門的な指導を提供するための外部講師の参画も進められた。

地域連携の強化

- **大学や協会との連携が強化**され、指導者の確保や外部講師の活用により地域ブロック部活動の実施に向けた協力体制が整った。

運営体制図

